



全国学力学習状況調査の結果について(学力編)

今年4月に6年生を対象に実施された「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力と学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。

本校では、実施後速やかに全教員で解答を採点し、1学期の指導に活かしてきました。この度、文部科学省から調査結果が送付されましたので、夏休みの研修会で再度、全教員で結果を分析しこれからの指導について話し合いました。今後、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実していきます。

1. 教科に関する調査結果

(%)

(%)

平均正答率	国語	算数
国府小学校	—	—
三重県	67	62
全国	67.7	63.4
全国比	+1.3	-0.4

平均無回答率	国語	算数
国府小学校	—	—
三重県	2.2	2.6
全国	4.1	3.1
全国比	2.5	1.6

国語の平均正答率は全国を上回りました。領域別にみると「読むこと」の平均正答率が高い傾向にあり、言葉の特徴に関する「漢字の書き取り」では全国より16%も高く日ごろからコツコツと漢字練習を続けてきた6年生の成果と言えます。

算数の平均正答率は全国とほぼ同じで、正答数は同じでした。領域別でみると「数と計算」の平均正答率が高い傾向にあり、これも昨年度の反省から基礎学力の定着に学校全体で取り組んできた成果と言えます。また昨年度課題であった「図形」に関しては全国の平均正答率にかなり近づくこともできました。

課題がみえた部分について、今後、各学年において確実に定着させ、積み上げていくように、授業の改善および、家庭学習の充実を図っていきたいと考えています。

2. 各教科のできているところ(O)できていないところ(●)

こくご 国語

- 主語と述語との関係を捉えることができる。
- 漢字を文の中で正しく使うことができる。
- 目的に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が弱い。
- 目的や意図に応じて、日常生活から話題を決め、伝え合う内容を検討する力が弱い。

こんな問題です。

【和田さんのメモ】

<p>村木さんが知りたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図書委員会の取り組み ○読書イベント <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回 ・クイズなど 	<p>自分が伝えたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アイデア給食 <ul style="list-style-type: none"> ・年に2回 ・自分たちが考えたこと ○地いきならではの取り組み <ul style="list-style-type: none"> ○総合的な学習の時間 ・家の生き物の調査 ○すなはまの遠そう活動 <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回 ○音楽クラブの演奏会 <ul style="list-style-type: none"> ・たん苔の楽器は木さん ・地いきの行事に参加
--	--

これは伝えたい

質問されたら答える

用意するもの

- ・アイスが溶かされたカード
- ・海の生き物の写真

1 おたがいの学校の取り組みのよい点を比べて、伝えることを明確にした。

2 おたがいの学校の取り組みの問題点を比べて、伝えることを明確にした。

3 相手の知りたいことを取り入れて、優先して伝えることを明確にした。

4 自分が知りたいことを取り入れて、優先して聞くことを明確にした。

一 和田さんは、「和田さんに聞いたメモの内容」を受けて、しようかいる内容を、次の「和田さんのメモ」のように整理しました。和田さんは、どのように整理しましたか。その説明として最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。



「書く（漢字や文法）・読む（音読）」などの反復練習を家庭学習でも続け、基礎基本の定着に取り組む。国語科に限らず、様々な教科において自分の考えを書いたり話したりする際には、具体例や根拠などを明確にしてその考えをもった理由までしっかりと説明するように指導する。

YOMU ワークシート、読む・書くワークシートを使い、読み取る力をつけていく。

さんすう 算数

- 計算に関して成り立つ性質を活用して、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できている。
- 表を読み取り、必要なデータを取り出して落ちや重なりがないように分類整理することができる。
- 速さの意味について理解していない。→速さを足してしまった人が70%近くいました。
- 問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことが弱い。 (こんな問題です)



1年では繰り上がりのある足し算、繰り下がりのある引き算。2年生では足し算・引き算のひっ算と九九。3年生ではわり算とかけ算のひっ算。4年生ではわり算のひっ算。5年生では小数のかけ算、わり算と分数のたし算ひき算。6年生では分数のかけ算・わり算。必ずできるようにして進級するよう、授業や家庭学習などにおいて反復練習を何度も行い、定着を図る。

授業だけでなく、日常生活の中でも算数につなげた授業を展開していく。例えば右の速さの

学習では実際に走って速さを求める活動をし、速さを理解させるなど。

長さ（距離）やかさ・重さ・面積など実際の値とつながっていない子が高学年でも見られます。ご家庭でも、料理や食べ物でかさや重さを確認したり、出かけたときに距離を確認したりして体感させていただくとありがたいです。

(4) たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通って図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。

道のり

時間

家 郵便ポスト 図書館

分速 200 m

分速 200 m

家から郵便ポストまでは、道のりは600 mで、3分間かかり、速さは分速 200 mでした。

郵便ポストから図書館までは、道のりは400 mで、2分間かかり、速さは分速 200 mでした。

家から図書館までの自転車の速さは、分速何 m ですか。

答えを書きましょう。